

関係各位

2025年7月14日

株式会社パテント・リザルト

【窯業】他社牽制力ランキング 2024

トップ3はAGC、TOTO、日本特殊陶業

弊社はこのほど「窯業業界」の特許を対象に、2024年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別に集計した「窯業業界 他社牽制力ランキング 2024」をまとめました。

この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

集計の結果、2024年に最も引用された企業は、1位 **AGC**、2位 **TOTO**、3位 **日本特殊陶業**となりました。

【窯業業界 他社牽制力ランキング 2024 上位10社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	AGC	781
2位	TOTO	482
3位	日本特殊陶業	373
4位	日本ガイシ	357
5位	LIXIL	337
6位	CORNING (米)	223
7位	日本電気硝子	193
8位	日本板硝子	184
9位	太平洋セメント	176
10位	住友大阪セメント	156

【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2024年12月までに公開された全特許のうち、2024年1月～12月末の期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を対象に、抽出・集計をしています。また本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2025年5月時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。なお各企業の業種につきましては、総務省の日本標準産業分類等を参考に分類しています。

1位 **AGC**の最も引用された特許は「地球温暖化への影響が少なく、サイクル性能に優れた熱サイクル用作用媒体」に関する技術で、ダイキン工業の計16件の審査過程で引用されています。このほかには「既存の冷媒と代替可能なサイクル性能を有する熱サイクルシステム」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、こちらもダイキン工業の計9件の拒絶理由として引用されています。

2024年に、AGCの特許によって影響を受けた件数が最も多い企業はダイキン工業(72件)、次いで日本電気硝子(37件)となっています。

2位 **TOTO**の最も引用された特許は「アーク放電の発生を抑制することができる静電チャック」に関する技術で、日本特殊陶業や京セラなど計5件の審査過程で引用されています。このほか「使用者の排泄物に含まれる汚染物質の拡散を抑制できる衛生設備機器」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、パナソニックなどの計5件の拒絶理由として引用されています。

2024年に、TOTOの特許によって影響を受けた件数が最も多い企業はLIXIL(113件)、次いでパナソニック(26件)です。

3位 **日本特殊陶業**の最も引用された特許は「異常放電によるダストの発生を抑えることができる静電チャック」に関する技術で、TOTOなど計5件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2024年に、日本特殊陶業の特許により影響を受けた件数が最も多い企業はデンソー(33件)、次いで日本ガイシ(26件)となっています。

4位 **日本ガイシ**は「外周部の腐食を抑制可能なセラミックヒータ」、5位 **LIXIL**は「意匠性を向上させた建物外壁用の電動式シャッター」が、最も引用された特許として挙げられます。

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

【窯業業界 他社牽制力ランキング 2024 データ】

- ▶納品形態：以下のデータを収録したエクセルファイルをメールで御納品※
(※データ一式を収録したCD-Rでの御納品をご希望の場合はご相談ください)
 - ・ランキング トップ50社：本業界の被引用件数上位50社のランキング
 - ・被引用件数 トップ100件：本業界の被引用件数上位100特許、及び引用先の特許との対応
- ▶価格：50,000円(税抜)

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ

URL：<https://www.patentresult.co.jp/>

e-mail：info@patentresult.co.jp